

Raymond Academy

レイモンド学園だより No.42

2020年1月

「兄弟たちよ。主イエスにあってお願いし、また勧告します。あなたがたはどのように歩んで神を喜ばすべきかを私たちから学んだように、また、事実いまあなた方が歩んでいるように、ますますそのように歩んでください。」

I テサロニケ 4:1

いつも尊いお祈りをレイモンド学園のためにお捧げ下さりありがとうございます。当学園も3月で15年目を終わろうとしています。

年頭に主より上記のような励ましのみことばを語られました。ここには「ますますそのように歩んでください。」と主が語られています。さらに主に忠実に歩んでゆけますようにと祈ります。

以下に、今年最初のチャペルタイムで語られたメッセージを記載いたします。

伊東美穂

「勤勉である」(1月のテーマ)

中学一年生の少女が3キロ走の大会を欠席すべきか迷っていました。練習はしましたが、自信がありませんでした。しかし、やることにしました。当日、少女の母親は応援のために学校に行きました。同級生たちが次々とゴールする中、なかなかこの少女は現れません。やがて、ひとりで遠くを走る姿を母親は見つけました。そして、打ちひしがれていたなら慰めようとゴールで待機しました。ところが、娘は母親を見ると「やったー!」と叫びました。最下位でなぜ?彼女はやりとげたからです。完走したからです。彼女は自分にとって難しい課題に挑戦し、やり遂げました。

聖書は努力や勤勉をたたえています。人は運動や音楽などの練習を通して、コツコツと努力することを学びます。RAでは、そのように努力している人たちを応援しています。メリットを差し上げるのはそのためです。

使徒パウロはメリットではなく、先の言葉によってテサロニケの人々を励ましました。「兄弟たちよ。主イエスにあって、お願いし、また勧告します。あなたがたはどのように歩んで神を喜ばすべきかを私たちから学んだように、また、事実いまあなたがたが歩んでいるように、ますますそのように歩んでください。」(I テサロニケ 4:1)。

テサロニケのクリスチャンは、自分たちの生き方で神様を喜ばせていました。パウロはますますそうするようにと、彼らを励ましました。

今日、皆さんも、勤勉に一生懸命、学びを続けることでしょう。勤勉の反対は怠惰です。怠惰とはすべきことをしないで、むだに時間を過ごすことです。

何のために私たちはここで学んでいるのでしょうか。自分のためでしょうか。神様を知り、神様を愛し、喜ばせるためです。そのために精一杯頑張っています。そういう信仰の歩みを続けていく励ましとして、テサロニケ人に贈ったパウロの言葉を、私

たちも受け取りましょう。

そして、もう一歩進んで、この言葉で誰を励ますことができるか考えてみましょう。神様に従ってこつこつ懸命に歩み、神様を喜ばせようと努力している人が、きっと周りにいるでしょう。まずは、隣にいる友だちを励ましましょう。その友だちの信仰の歩みを励ましましょう。お互いに隣の人に伝えましょう「今日も一日頑張ろう!!」

その人が頑張りが続いていくために、あなたの一言がきっと用いられるでしょう。

【報告】

卒業生のカポンポン頼基君さんがレイモンド学園で教師に

昨年7月、一年間のゼラス・プロジェクトを終えてイスラエルから帰国したカポンポン頼基さんは、将来献身するビジョンを与えられています。神様の導きを求めつつ11月から3月までの予定で学校の働きを手伝ってくださっています。そして、今後の導きを祈り求める中、2020年4月からも主が導かれる間、更にレイモンド学園のフルタイムスタッフとしてその歩み続けることになりました。青年、教育にかかわることは将来の働きに益となることでしょう。また学園にとっても学園をよく理解した卒業生のスタッフが与えられたことは大きな喜びです。どうぞ頼基さんの学園における働きのため、また将来のためにお祈りください。



老人ホーム慰問演奏



2019年12月には高齢者施設2箇所と、東戸塚キリスト教会婦人会よりご招待を受け、コワイヤチャイムとハンドベルの演奏をいたしました。昨年4月から12月まで谷口かおる姉よりすばらしいご指導を頂きました。学園の終了式も含めての計4回の演奏会では大変感動的で心満たされる賛美をお捧げできました。早速来年も演奏を依頼されています。地域にあって学園が主の栄光を現していけますように。

なお、1月から3月までの音楽の授業は朴ヨンエ音楽宣教師（浅草橋教会）に歌のご指導をしていただきます。



編入生歓迎 松田健太郎君 小学5年生

1月5日月曜日から、保土ヶ谷区在住で地域の菅田小学校に通っていた松田ジェコブ健太郎君が転校されました。Tokyo Baptist Church に家族で通っています。どうぞよろしくお祈りいたします。

エコセミナー 1月17日

毎年恒例のエコセミナーは、今年も素晴らしい学習の時となりました。

神奈川県地域温暖化防止活動推進員であられる、地域の町内会長のご推薦で、今年は王子ホールディングス株式会社(王子製紙でおなじみ)の環境管理室の方がおいでくださいました。「紙のリサイクル、森のリサイクル」(プラスチックに代わる紙製品の開発)という内容で詳しく教えてくださいました。

そしてもう一つは、公益社団法人日本消費生活コンサルタントの方による「海洋プラスチックごみについて」でした。関連した二つの講義を伺い、生徒たちも充実した学び、またディスカッションの時をすごしました。

毎年、町内会長は、「レイモンド学園の生徒さんは、聞く姿勢がよくて、話をする側もとても話しやすい」といってくださいます。地域にこのようなサポーターがいて下さることも主の大きな恵みと憐れみです。



【支援のお願い】

2020年4月よりレイモンド学園は新入生を含め、児童・生徒19人で16年目のスタートを切ろうとしています。学校の歴史が作り上げられると共に生徒は成長し、3月に迎える卒業式は第7回目となります。そんな中、新しいスタッフが学校の働きに加わり、新鮮な風が吹くことは学校にとって喜びであり、祝福です。何より生徒のために素晴らしいことです。今後も新たな生徒、若手の教師が与えられていきますように、お祈りください。また、学校の働きをご支援いただけましたら、大変感謝です。

20年前に多くのチャーチスクールが生まれましたが、当初より現在まで継続されている学校は半数くらいだと思います。その理由は生徒の減少、人材確保の難しさ、経済の問題、などさまざまです。レイモンド学園も最初の愛とビジョンをもう一度明確にして、なお「事実今あなたがたが歩んでいるように、ますますそのように歩んでください。」との主の御声を聞きました。今年も主に従って歩みます。今後とも祈りの手を上げ応援してまいりますようお願いいたします。

支援献金振込先

郵便振替 00230-8-38999 レイモンド学園 伊東献仁
神様の祝福を皆様の上に心よりお祈り申し上げます。

